ていく決意を表明し、 司教としての務めを果たし

壽夫司教の後継者として正

務め、ウェイン・フランシ

髙見三明大司教が主司式を

叙階式は長崎教会管区の

ス・バーント師は参列者に

松墩区報

J18年3月4日 (第180号) 庁所 カトリック高松司教区 広報委員会 〒760-0074 高松市桜町1-8-9 087-831-6659 FAX 087-833-1461 il

教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp 広報:tk-koho@mxi.netwave.or.jp 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

のお祈りとご支援に、心よ 卒業致しました。これまで 修了ミサを以て、神学院を り感謝申し上げます。 お蔭様で、2月3日朝の 未熟な私がここまで歩ま

達と出会いました。

そして、東京での2年の

那覇

キリストを生きる

救

(Y

東京で「新福音化」のつどい

から30年が経ち、新福音化

バラエティー豊かな神学生 に、年齢が2代から5代の 方々が迎えて下さり、さら

させて頂いた時も、趣味の

に勤しんだ時等もいつも

小教区で洗礼式や説教等を

ります。根本はやはり、

務を沢山させて頂き、気持 今年度は助祭としての役

希望と責任を感じておりま

謝、別れの寂しさ、そして せて頂いたことの喜びと感

> に胸を膨らませていました。 朝の東京駅で、期待と不安

> > す

神学院では、スタッフの

学院祭を準備した時も、

学生会長をした時も、

業の課題と格闘した時も、

フランシス・バーント師 ンシスコ修道会) ―写真左 いる外国籍

司教ウェイン・ 里教会で1972年以来と 、米国籍・カプチン・フラ 2月12日、那覇教区の安 の司教叙階式が行われた。 18人の司教と司祭団の共同 大司教が引き継ぎ、全国の 教区の司教となった。 式に司教座に着座し、 大使ジョセフ・チェノットゥ 続くミサの主司式は教皇

那覇教区の新司教 司式で進められた。

◆バーント司教略歴

ものです。

高松教区からは委員長の諏

1名ずつが呼び集められた るために、15教区から男女 ましのメッセージを発信さ 委員会から全国に向けて励

ント師が叙階 祭叙階。以来、那覇教 スコ修道会に入会、 1983年に米国で司 981年に来日。 セッツ州)生まれ。 チバーグ(マサチュー 国ウースター教区フィッ 1954年5月15日米 カプチン・フランシ

マザー・テレサの言葉

がっている体、汚

け出すために、私

子らのうちで最も

グループまとめの発表

る範囲での福音宣教」につ

いてレポートを提出するこ

かち合い、

受けてきた奉仕」と「見え て、参加者には「私が引き

とが求められました。

新福音化への思い」とい

区やさいたま教区で働

の助祭、1人の修道士と64 司祭(司教を含む)、4人 〇〇人。小教区13。 への修道女が働く。 那覇教区の信者数約62 23 人の 20 年10月に東京で体験した たかと感じ、 さに「福音化」ではなかっ うテーマをいただいて、昨 「新福音化のつどい」がま ととに報告い

えていかなければならない

まとめ終えた時、私は「宣

信仰生活や周りをふり返り

そとで自分なりに今までの

教のために、福音をのべ伝

に気づき、違和感を覚えま

このつどいは、

つどいの初日は「私が引

時には「これを一回で終わ

それでも三日目の朝食の

SANCTE

高 山

神学院卒業

洗礼、祝別、説教、相談等

東京での助祭コースを学ん 神学課程、そして今年度は

けたり、些細なことから学

ことに必死で、お叱りを受

れた言葉「神学院は、無難

に過ごすのも可能だけど、

ております

んとに不思議なくらい頂い

で参りました。

ちは見習いでも、

福岡での3年の

徹



行列車に乗り、到着した と共に歩めますように

クみたいに、一人高松駅で しとが出来ました。 待ったなし、に修行する 2012年春の上京が、 日のようです。昔のフォー

る時等、 嬉しい時、 楽しい時、緊張す 色んな時がありま

られたり、何一つ無駄なも のはなく、あまりに恵まれ

忘れて語り合ったり、慰め

生間で衝突したり、時間を に刻んで参りました。 結果はどうあれ決断しやっ

返りつつ、未熟な自分が司

今、これまでの恵みを振り

可祭叙階の許可を頂いた

恐れを同時に抱いているの 祭職に向かうことの希望と

き合う時間であったと思い 分や他者とそして神様と向 元の養成プログラムは、ど 的」「宣教司牧的」の4次 れも外せないことが今分か 神様のもとで一個の聖職者 ながら、自分も大切にし、 ます。人や物事を受け止め 強調したかったのだと思い てみることの大切さ、それ い!」とおっしゃいました。 思いは、はっきり言いなさ を通しての成長をMさんは ることに時間を費やしがち ことと思います。 い思いをしながら「自分の **|私に対する心配もあった** 溝部司教様はずっと歯痒 人との和を大切にし

歩めますように、

きました。

恐

れ

として"すっくと"立って

実際には、 歩み続けそし

き受けてきた福音・信仰の

CEが目指した考え方は新 Eのことを知っている方は 主催者の意に反してNIC これらの分かち合いで、

る範囲、知っている範囲で 会のパイプをさぐる」を分 の福音宣教」、「社会と教 ト」に始まり、「私の見え かという感想を持ちました。 透してきているのではない 2目は、「福号ーケッ い世代には自然な形で浸 「そのパイプは

ラザー八木と私が参加しま 訪司教様、松浦神父様、

)た。 まず事前の 準備とし

いう総意に落ち着きました。 まってくると、「頭が爆発 で会館に缶詰になり、煮詰 むしる若い男性の姿も見ら 私たち自身ではないか」と しそうだ~!」と頭をかき ただ、早朝から夕食後ま という言葉がポーンと飛び きるのが楽になった。隣の 君とれを伝えいきい。 頼りにできた時、ぼくは生 語った私に、「大人になっ て、再び主に出会い直して、 特に自分の挫折について

参加者全員記念写真



くのではないでしょうか。

高松教区女性の会

にも」キリストを繋いでい た私たちは、また「隣の君

そして新たに福音化され

返り」のテーマが与えられ 聞こえてきました。 らせないで欲しい!」との 「新たな鏝尾に向けて」 食堂のあちこちから

> 今思い返すと、こ の優先順位は一転

の時に私

の問いかけとミサが終わる 来上がりました。 先を交換し、私のグルー。 頃には、各グループで連絡 にもメーリングリストが出

それより、互いの人生を差 違和感はありませんでした。 幌教区2名、東京教区1名、 初めて顔を合わせたのに、 高松教区2名の計5名でし たが、遠くの教区の方々と し出す中で絶妙な掛け合い 私たちのグループは、

みんなは紛れもないカト

は人生で初めてと いほどの自分への 言って良 躓きを感

きたのは、「一人ひとり個 だ」という実感でし 出で、溢れていくものなん も減ってはしまわず、湧き びは、いくら周りに与えて 福音化されていく、その喜 性をもった信徒が、新たに て分かち合いの末に共有で た。 隣の君にも出会いました。 いを祈るしかありませんで 分からず、ただただ主に救 ないほどの悲しみを抱えた じるようになりました。 した。 同時にどうにもなら そして私は自らの罪と弱 私はもうどうして良いか

ろまで行きましょう」と声 新幹線で帰る人いませんか がかかり、新たな群れがで 〜。いっしょに行けるとこ でもあちこちから「空港、 直撃で外は暴風雨でした。 では台風の でした。送られてきたすべ さを私を土の器のように砕 きました。 てのそれに共通していたの たのは「メーリングリスト」 その時、私を支えてくれ 「神の深い憐れみを信

倣い、司祭職に与りたいと

肚の底から望み、主と共に

に…」と答えたマリア様に

それでも、

「お言葉通り

ミサが終わる頃

る糧となりました。 君が人として救われる生き の道具ではなく、私と隣の いうメッセージでした。 じて、共に祈っている」と 福音はもはや宣教のため

き合い、強く手を握り合っ

て戻っていきまし

た。そこ

を約束し、ある人

たちは抱

参加者たちは笑顔で再会

言葉は「私たちは葡萄の木」 で、最後に私が書き取った

あれから3ヶ月

八私の中

しました。

何か圧を感じる」と言われ から「オカンの信仰からは、 うな今までの宣教観。息子 頂くのだという実感です。 キリストを生きることから よって得られるのではなく、 何かに追い立てられるよ 「救い」は、ただ洗礼に

のです。昨日は、病院の待 かけてみました。 いっぱいです。楽になった ように思います。 合室で隣の人に気軽に声を 今の私は、感謝と喜びで

の場で私たちは様々に出会 が私の橿尾の「きっかけ」 になったのだとすれば、あ い、祈り、分かち合うこと この「新疆官化のつどい」 彼女はうれしそうに応え 純になっていくことがで きれば・・。 少

重吉の「素朴な琴」とい共鳴するかのような八木

ね/琴はしずかに鳴りいば/秋の美しさに耐えかいとつの素朴な琴をおけ「この明るさのなかへ/ う詩があります

はばたき

が、 に音楽学者の皆川達夫氏 ン時代にグレゴリオ聖歌 「福音宣教」誌の1月号 対談の中でキリシタ

譜を見ましたが、よく解 実演を聴かれたそうです。 ました。 魂を堅琴にたとえていま を楽しみにしています。 らず、先生の今後の研究 お琴と少し関わった者と 筝曲の「六段」が弾か いお話に、「六段」の して思いがけない喜ばし ていたのではと話して 「クレド」の伴奏として 2011年にテレビで ある聖女はしばしば霊 楽

ので、主の御手がそれにの弦は調子よく響かない れ、 れていなくてはならない いる力を分散させてしま り神から遠ざかろうとし を避け、テレビやスマ 奏でるためにはその に気を散らし、出来る限 と言っています。 よく調弦(自己統一)さ ているかのようです。 そのために自分のもって 私たちは孤独と沈黙を恐 いるのです。その堅琴 神への賛美の調べを 自分と向き合うこと 神へ向かえなくなっ

のうちに幼子のように単神の愛へのまったき信頼の内に、深く沈み込み、 奏でることができないの触れても、神聖な音律を しの時間でもいい、

聖母の祝福がありますよる高山助祭のうえに主とこの春、司祭叙階され だすだろう」 が行われた。

立50周年・聖カタリナ大

タリナ大学短期大学部創 県北条キャンパスで聖力

10月21日 (土)、愛媛

と題した記念講演が行わ

れた。

学創立30周年の記念式典

さらなる発 聖力短大50周年 展 大学30周年 う

多くの聖カタリナ



タリナ大学短期大学部と 声により、華やかな祝宴 越智禎拡様の乾盃のご発 学長の挨拶後、 教修道女会、地域市民と 聖カタリナ大学が発展で が催された。 短期大学部 同窓会会長 ナ大学・聖カタリナ大学 このように現在の聖力 聖ドミニコ宣 聖力タリ

る時に、それは今も事実

シスターの一人一人を見

として感じ取ることがで

多数の方々のご臨席を賜

約800人が出席し

育、 医療、 経済業界から

が出席し、官公庁、教

めとする本学教職員・学

式典には、学長をはじ



を始めた修練者の頃に修

「麗しい兄弟愛」を謳っ

私が修道院の共同生活

来賓祝辞では、 挨拶があった。

美子理事長より

ゲル学長の式辞

に続き、中田婦

ホビノ・サンミ

中村時広 愛媛県

聖書朗読が行われた後、

式典の冒頭、主の祈り、

きたのは、

があります。

結果として「共生の喜び」

で、

「見よ、兄弟が睦ま

共に住んでいるシスター

じく住むのは、何と麗し

快いことか。」と

の神殿なのだと思うと、

「信仰の喜び」の派生的

ダビデは詩編 (133)

で「信仰の喜び」を味わ

修道院の共同生活の中

幸いなことでしょう。 うことができるのは何と

信

共に生きる喜

び

長様(代読)、 野志克仁 松山市 知事様(代読)、

聖ドミニコ宣教

修道女会 日本管

時から、共に住んでいる と言われたことを聞いた

の中で「あなたがたの体 信徒への第一の手紙6章

格性と他者性を認め合っ も国際的にもお互いに人

学校食堂で盛大に祝賀会

の造られた人間ひとりひ 練長講話の中で、「神様

とりの中に三位一体の神

表現です。

聖パウロがコリントの

具体的には、個人的に

みたくなるとても美しい ています。何回も口ずさ

その喜びを味わっていま これも信仰あればこそと、

様が住んでいらっしゃる」

業生の支えがあっ の決意、教職員の あり、歴代の理事 と支援のおかげで 大学愛好者の援助

協力、後援会と卒 長と学長、理事会 たからである。

感謝し、これからも聖ド に、全ての皆様へ心から

護のもとで素晴らしい発 まいる所存です。 展が出来るように努めて ミニコと聖カタリナの保

科」「人間社会学科」 康福祉学部「社会福祉学 聖カタリナ大学 話:089-993-07 県松山市北条660 電 02 (代) 〒799-2496 愛媛 人間健

第二部の祝賀会では、

を迎えられたこと 50周年·30周年

カタリナ大学短期大学部 「保育学科_

県松山市永代町10番地 1 〒790-0022 愛媛 【松山市駅キャンパス】 電話:089-947

康福祉学部「看護学科」 聖カタリナ大学 -0502 (代) 人間

【北条キャンパス】・

健康スポーツ学科」聖 部創立50周年・ ナ大学創立30周年記念式 聖カタリナ大学短期大学 ・聖カタリ

> 召命を育てる 2月3日(土)、高松司 活動にも支援 粒会委で確認

れましたのでご報告しま 会が開かれ=左写真=以 教館において一粒会委員 トのことが確認・承認さ

記念講演を行う宮本久雄師

経費の援助」、 生養成及びそれに伴う諸 従来の「高松司教区神学 トリック神学院への分担 粒会献金の使途は、 「諸委員 「日本力

められた活動への援助」、 資すると本会において認 会活動の内、直接あるい ことになりました。 関する援助」も追加する 祭・修道者の生涯養成に は間接的に大いに召命に 本会が認める司祭・助

を育てていく決意を確認 て、引き続き召命活動に 取り組み、青少年の召命 また、教区民一丸となっ



私ひとりでは大それた 信じあう喜びが伝わ

畏敬の念が沸いてきます。 謝 ! 中で生きていることに感 信仰の喜びの味わいの

である。」と言われる言 は一人一人それぞれ聖霊 霊が宿ってくださる神殿 葉も併せて聞こえてきま は、神からいただいた聖 る雰囲気が大切だと私は せめて、日々出会う人々 思っています。 じて生きる者の喜びが伝 に聖父と聖子と聖霊の三 わると嬉しいです。 位一体の神様、信・望・ 愛の対象である神様を信 ことはできませんから、

知る時なのだとも思いま

私が司祭になっ

聖ドミニコ宣教修道女会 Sr·河野惠千子

う、引き続きお祈りとそ 道者の召命が生まれるよ の取り組みをお願いしま 教区から司祭・助祭・修 する地区、ブロック、小 ご 自分の所属 です。

列者が集いますよう、ご 3月21日の高山師叙階式 協力をよろしくお願いし の地域からたくさんの参 お祈りのために、皆さん まずはその一つとして、 司祭誕生のお祝いと

ブラザー八木信彦

司祭に叙階されてから

·粒会活動についての活発な討議 島から通っています。高 山右近の事にも関わらせ

える委員会」に2回参加 から、教区の「人権を考 て頂いています。 しながら、学んでいると して状況を少しずつ把握 この担当に任命されて

の言葉から、今は学ぶ時 集会の事を話した時、 と言われたのですが、こ いうところです。 「いろいろ学べていいね」 ある委員の方が、対話

く事は、今の現実を知る 活動している方の話を聞 集会で直にそれを生き、 うえで、私にとってとて 実際、今年1月の対話 ていました。 のためにそこへ行って、 方々と交わりの時 ミサを捧げた後、 毎日曜日の午後からミサ

をされた方の一番うしろ も良い体験でしたし、話 ことを私は感じることが の自分自身の事をふり返っ で、神が活動を支えてい ること、神が働いている ここで少し、これまで に意識して接してはいな いたように思います。 かったと思います。お互 いに、ただ普通に接して ようという思いが しかし、その時も特別 無意識に、自然に接し

担当司祭に任命されまし 活動センターの高松教区 阪教会管区部落差別人権 との度、 カトリック大

題に対して、特別に意識 はないかと思います。 したり、身構えて関わっ たりしたことが無いので 私は同和問題や人権問 学生時代に同 らくそうでしょう。慣れ 裕がありませんでしたか ら··· ない頃で、精神的にも余 たかもしれません。おそ 反対に気を使われてい

す。こ をしたぐらいで け、その委員 和教育を少し受 と同和 くことになります・・・ 事や、人々と関わってい 当然ですが、様々な出来 は考えた事がなくても、 その他にも、それまで

る機会はありませんでし 司祭に 問題となると、 からは直接関わ なって 差別、偏見、無理解、不 たりするのは、やはり、 その中で見たり体験し

識していたのかもしれま しかし、無意識の う訳ではないのです 全く話さなかっ 中で意 が・・・ たとい な事も。 こともあったり、又新た な地平が見えてくるよう 寛容、拒絶、無視・・・ とのようにふり返りな 悲しくつらい事になる

務局にも週2回程、小豆 担当し、また教区本部事 18年、今は小豆島教会を

差別 偏 区部落差別人権活動センター 見などない世に

大島とい 思者の 療養所 今更ながら感じています。 れているのは、やはり謙 虚に学ぶことなのかなと がら、今、主から求めら

入阪教会管

方々のための国立 う島にハンセン病 大島青松園があります。 香川県には、

センター担当司祭 岩﨑 武



ちょっと ひといき

ている あなた自身が神への それ自体もう祈りだよ 苦しみ悲しみに 耐えて生きることは もうそのまま祈りになっ

生きていることは素敵 生きる

そしてこんなに優しい た空が見えるもの こんなにきれいな晴れ 人々に会えたもの

管区部落差別人権活動セ 2月No・49より転載させ ンターたより 冬号18年 (*カトリック大阪教会

ていただきました。)

化の実践でした。

これらはとてもよい食文

風だったと誇にさえ思え

のです。数年後兄が自分 といっしょにしていたも

中英吉神父(後の司教)

いてお聞かせください。

神父様ご自身の召命につ

との返事を貰いました。

ジルでの宣教を志し、

階後に出発しました。

たところ、来てみなさい、

画家の津田秀穂氏が田

から参加し、受洗しカト

ほどなく洗礼を受け、

て嬉しかったということ

族についてお聞かせくだ まず、乾神父様の里と家 んで居たので、そんな時 わせて食事を用意したり、 は、私たち兄弟が力を合

クの信者だったのでしょ

驚かされました。

ご家族はもともとカトリッ

の寛容さがうんと深まり、

一途な生き方にも家族へ

れない日本で、献身的に

オブレート会宣教師が慣

イエス様の教えを宣教さ

れている姿に感銘を覚え

うか。

り、発作が起こると寝込

母には心臓の持病があ

私の里は紀伊水道の北

家のことを切り盛りもし

維新の平民化が進んだ頃、 端鳴門の撫養、四国八十 八カ所巡礼の入口の町で 両親は廃藩置県の明治 ときに発作が起こらなかっ でも母が身ごもっている ていました。

元気な母は宝でした。

日いちばんに供え物をし

したが、神仏を祭り、毎

二人の受洗者がいました 年生の頃です。同級生に

づき、卒業後の進路を考

いよいよ高校卒業が近

に触れたのは高校生の1

私がカトリックの教え

ていました。

ので、私はその生き方に

興味をもって観ていまし

かり、希望していた農業 え始めた頃、肺の病にか

大学への入学が出来なく なりました。今思えばこ

そうではありませんで

ました。こうして家族の てから家族の食事があり

た。

いのちのよりどころを覚

がら育ったに違いありま 時の世情の変化を感じな 母は武家の生まれでし の力だと聞かされていま

三十年代の生まれで、当

たことは、母からも胎児

えさせられました。

私たちの家族と兄弟の

にのって入ってくるハゼ

でしょう。

れも神の計らいだったの

十一月の大潮の満ち潮

病いが修練院入りのきっかけ

堂の浦という漁師町で、 女に入り、小鳴門海峡の たが、幼くして乾家の養 大事に育てられたそうで 父は県南の、山と谷間

す。母の乾家に入り、世 畑の分譲もならず、教師 男として生まれ、山や田 に役立つ家族を創ったよ 道に精を出したそうで

私たち子どもは観ていま だったのではないかと、 生から身につけた生き方 いたようです。二人の出 杯尽くす性分が働いて 二人して、育つ者に精

八女児3人でしたが、私 子どもは上から男子6 うぞ。

ろの野菜をだいじに作っ 少しの庭でしたがいろい ていました。 鶏や兎も飼ってみんな せてやっていたことが強 とは何でも兄弟力を合わ

たそうです。

で世話をしていました。

した。

出などがありましたらど 小さいころの特別な思い

申しましたように家のこ そうですね。先ほども

く印象に残り、これが家

は五男です。生活には父 の給与だけでしたので、

のつづく鷲敷の農家に次













優しいまなざしで園児を祝福する乾師

る「十字架同志会」があっ 兄の回心からに違いない カトリックとの繋がりは、を釣っていたとき、教理 人が飽くことなく学び語 23年頃には、もう若い 終戦後間もない昭和22 竿を草むらに置いて、つ の勉強に行く兄が、おま の生き方に結ばれたはじ まりでした。 いて行ったのがイエス様 か、と誘ったので、釣り えも一緒に行ってみない とを考えていた私でした できないかと思っていた めて大学入学を目指すこ 時、高知の安芸に修練院 オブレート会の手伝いが が、兄の勧めもあって、 て、その院長神父に話し を拓くということを聞い このブランクの間、改

の道のりはどのようなも オブレート会での召命

> 生でした。私は彼に倣っ 誓願宣立者は津田秀穂先 のだったのでしょうか。 ましたが、ラテン語の習 て修道誓願を目指してい この修練院での第1号

りました。 学校に入学することにな 得状況が認められて、福 岡のサン・スルピス大神 また、そこで哲学科の

初誓願を立て、ワシント ンにある当会の神学校に 私たちは修練期を終え、 うになって、モンテッソー

履修し、神学科を4年修 を務め、7年のアメリカ 滞在を終えて1964年 学し、助祭に叙階されま その後しばらく助祭職 ました。 学んでもらったり、経験 幼稚園教師にもそこで

着座していました。 松教区となり田中英吉神 の知牧区だった四国は高 父が高松教区司教として に徳島に帰ってきました。 したが、その間に多方面 を含めて37年間関わりま 主に古賀の暁の星幼稚園 の方々の協力を仰ぎなが 九州での幼児教育には

ました。

と説明されています。

今も幼稚園で幼児教育に力注ぐ

び、福岡の古賀教会に派 もらった後、2年の間、 け、私は3カ月の休みを 公会議後の信徒神学を学 上智大学で第2バチカン 一方、硫黄神父はブラ 鳴門教会には2003年 ら九州のモンテッソー 司祭として働きました。 はなく主に教育畑で働く 幼児教育センターの立ち 協会支部として、モンテッ ソーリ教員を育てる九州 上げに携わりました。 ですから私は司牧畑で 今年で16年に を全うすることに

お聞かせください ての宣教活動についても オブレート会士司祭とし

が、オブレート会のポリ 祭として派遣されました シーとして地域の人達の 古賀の教会には助任司

神学科の山崎氏と二人で ストン郊外の修練院に、 けるためにアメリカ、ボ オブレート会の修練を受 1年を終えたところで、 行くことになりました。 としての幼稚園併設が古 教育文化にも資する働き 賀でも行われていました。 の出発点になりました。 してモンテッソーリ教育 ここが私と幼稚園、そ 幼稚園教育に携わるよ

私は哲学科2年目から えられ、岡山ノートルダ リ教育に触れる機会が与 に亘り理論と実践を学び なりました。足かけ2年 ムでの研修に与ることに

を手伝って頂いて幼稚園 への導入に至ったわけで 深い先生に1年ほど準備

神父と私は司祭叙階を受 その田中司教から硫黄

遣されました。

鳴門での司牧と教育につ

く、教育畑で働 ここまで 司牧畑ではな

呼びかけて、そのあわれ

を通して、この地に現れ

とり子イエス・キリスト

人となられた主なる御ひ 天における神の栄光が、

「あわれみの賛歌(キ

りは宣教者であり、その ここまできました、これ りであり、信徒一 音を告げる人たちの集ま からもその思いで活動を ひとつの家族だと 私はいつも、教会は福 し思って 人ひと

ろから、

で行われる賛美と感謝と がら、これからミサの中 たえ」 (「総則」31) な

6世紀と ましたが、

言葉は「互いに重荷を担 てこそ、キリストの律法 いなさい。そのようにし 続けていきます。 そして、好きな聖書の になるの

す。」(ガラテア6・2 自身を欺いています。各 自分の重荷を担うべきで でしょう。めいめいが、 ては誇ることが出来ない るとしても、他人に対し てみなさい。そうすれば、 自で自分の行いを吟味し どの者と思うような人が ないのに、自分をひとか です。実際には何者でも 自分に対してだけは誇れ いるなら、その人は自分 あれ」」(ルカ2・14)

この言葉をいつ 胸に温

という壮大な謳で始まっ

けられています。

高松教区典礼委員長

谷口広海

したので、鳴門ではどう 注ぎました。 ンテッソーリ教育につい 在の鳴門聖母幼稚園のモ いう状況になるのかの戸 ても、転勤当初から力を 惑いはありましたが、現 いていま さる、あわれみ深い主を たたえる賛歌です。 ちをその食卓に招いて下 の賛歌は、三位一体の各 また、罪びとである私た 書の総則」30)であり、 みを歌う歌(「ミサ典礼 リエ)」は、信者が主に

両立しながらです。 者である主任司祭として 勿論、鳴門教会の司牧

ペルソナ(位格)に向け

この救い主キリストは、

がもたらされました。

3回に分けて行われるこ

の罪が取り除かれ、み心 られたことによって、世

に適う人にまことの平和

字架上で、神の子羊とな ました。特にイエスが十

ずれも会衆と共におられ られたものではなく、い

りを神にとりなして下さ ちにおられ、私たちの祈 聖霊と共に父の栄光のう 復活して父の右に座し、

るのです。

の好きなフレーズをお聞 最後になりますが神父様 かせください。 の宣教の在り方と聖書句 る主キリストに向けられ

ています。

紀ころ、朝の祈りに用い

られてい

る父と子羊(御子)をた

は、この歌をもって神な

「聖霊のうちに集う教会

「栄光の賛歌」は4世

『典礼奉仕』 のために 者のミサ られ、主 取り入れ 主の降誕 のミサに 日や殉教 うになり られるよ にも用い である」 (「総則」32) りは「自分が神のみ前に 願の祈りへと導き入れら の願いを思い起こすため はしばらく沈黙のうちに れていきます。 いることを意識し、自分 祈ります。この沈黙の祈 可祭の招きに従い、一同

るために天使の大群が歌っ 時」(「総則」31)に用 祝日、特に盛大な祭儀の 外の主日、および祭日と 平和、み心にかなう人に 栄光、神にあれ、地には の降誕の時、神を賛美す は、「待降節、四旬節以 た「いと高きところには 気を醸し出しています。 いられ、荘厳な祝の雰囲 「栄光の賛歌」は救い主 現在で そのため、この祈りは、 ストを通して、父なる神 願(一人ひとりの願い) ラテン語で「コレクタ」 32」ことになります。 では「集会祈願」と名付 意味)と呼ばれ、日本語 に向けられる(「総則」) が、司祭のことばによっ 儀の性格が表現され、嘆 て、聖霊において、キリ 「この祈願によって、祭 (「集められた祈り」の

殉

0 道 で 母

手

道後教会で聖ト

マス小崎版

画 展

教を前に天国への希望に

まで800キロの道を歩 処刑のため大阪から長崎

その中に父ミ

市中引き回しの後、

TSC便り 東日本大震災応援ツアー募集

1日目

11時45分 花巻空港

13時頃 昼食 大船渡ベース (旅行保険代と滞在

費をお預かり)

14時頃 大船渡の震災時のDVDを見た後、市内被災

地案内:菅原ベース長

分かち合い~夕食(復興商店街など) (大船渡ベース) *お風呂は近隣の温泉or 19時

ベースのシャワー

2日目 朝食は各自

8時半 朝のミーティング

陸前高田の震災時のDVDを見る 大船渡ベース出発~陸前高田市案内 11時 昼食 気仙沼 (復興商店街など)

12時半 南三陸ベースの車に乗換、南三陸町へ (震災遺構等案内:千葉ベース長)

お風呂(南三陸温泉ホテル観洋) 17時半 カリタス南三陸着分かち合い~夕食 宿泊(カリタス南三陸)

3日目

クの園に限ら

てのご講演をいただき

れぞれには境遇、

頂

不得意等あり

談訪司教護話に耳を傾ける参加者

朝食(セルフサービス) 7時45分出発 キリシタン殉教地三経塚でお祈り

歌興でフレンドリー

ということについて考え

9時半頃 南三陸町でボランティア活動 12時 昼食・買い物 さんさ商店街

13時 南三陸町出発 15時 仙台駅着

◆実施予定 第1回06月05日 (火) ~07日 (木) 第2回07月03日(火)~05日(木) 第3回09月25日(火)~27日(木) 第4回10月23日(火)~25日(木)

◆ 受付開始 各回ともツアー開始日の2か月前より

切 ツアー開始日の2週間前

員 9名 (最少催行人数4名)

*最少催行人数に満たない場合は、締切日翌日に大 船渡ベースからご連絡いたします。

*初日の花巻空港から最終日の仙台駅までは、スタッ フ運転のベース車両での移動です。

◆ 参加費の一括集金は致しません

旅行保険代160円(事前立替払い)+滞在経費1,000 円(1名分)=合計1,160円を初日の大船渡ベース到 着後にお支払いください。外での食事、温泉代(430 円~820円は、ご参加の方々各自で実費負担になりま す。)

教区スケジュール

2日(金)性虐待被害者のための祈りと償いの日

4日 (日) 四旬節第3主日 宣教司牧評議会全体会 (~5) in徳島

6日 (火) 司祭評議会10:00

10日 (土) 教区の将来を考える会13:30

11日(日)四旬節第4主日

17日 (土) 日本の信徒発見の聖母

18日 (日) 四旬節第5主日

19日 (月) 聖ヨセフ

(水) 春分の日 司祭叙階式in司教座聖堂13:00 (日) 受難の主日(枝の主日)世界青年の日

28日 (水) 聖香油祝別ミサ11:00~

29日 (木) 聖木曜日 (主の晩さん)

30日 金 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)聖地のための献金

31日(土)聖土曜日(復活徹夜祭)

4月 1日(日)復活の主日

4日 (水) 山下 悟師命日

8日(日)復活節第2主日(神のいつくしみの主日) 9日 (月) 神のお告げ

15日 (日) 復活節第3主日

16日(月)春の司祭・助祭集会in北条セミナーハウス(~17)

子どもの集いin北条 (~22日) 「助祭候補者認定式」 21日 (土)

(日) 復活第節4主日 世界召命祈願の日

25日 (水) 聖マルコ福音記者

29日(日)昭和の日 復活節第5主日

十六聖人の祝日を機に 崎少年を偲ぶ版画展が、 当時1歳だった聖なる

4日から道後教会聖

30日 (月) 振替休日

会場には京都から長崎

られ連行される場面、

司 縛

中で掌を合わせて祈る

私たちは日常の生活

う捉えるか

、の手紙を書く場面、

島の三

までの苦難の道での小崎 カトリックの精神

諏訪司教から学ぶ 香川で幼稚園研修会

カトリックの歴史や精

とや才能も周囲の人びと

人それぞれの誇れるこ

見つめて、

「あなた」

と

イエス様が

一人を

担と感じたり嫌悪感にも

もその人が持つ才能、 ださったように、私たち 呼び、受け入れ接してく

有

周囲の人の負

境遇や不得意なことで

くるものではなく、その

利な立場や肩書などから

人本来の善さや人間性を

幼稚園研修会が行われま 平成30年1月27日(土)

のことを大切にされたイ 神様の思いを、そして神 神についてのお話を聞く ス様の愛と優しさを感

じることができました。 子どもたちと関 うと自己嫌悪に陥り、 現実の目で見えること ッテルを貼られてしま

だけで人を評価したり、 ッテルを貼ることは負 人間関係をつくってし

わる姿勢、子ども ニケーションをと と同じ目線でコミュ 寄り添うこと

なり、 境の中でも同様に、 本人の意思とは異 子どもたちの環

とが必要であるこ

とを再認

識出

来ま

を受け止め、愛情 で見えてくる思

をもって接するこ

とや、 待や決め付けなど 負の連鎖が生じて しまうことがある で負担に感じるこ そこから 過剰な期

読まれた本の紹介



の中で向き合っていきた 大切に日々の保育や生活そして、それぞれの私を 見つめる力をつけること 刊 書 紹 介 新 籍

■『ロザリオ神のいつくしみの この小冊子は、はじめてロザ

Jオに触れる人に限らず、広く ロザリオに親しむ人の祈りと黙 想の助けとなるものです。ロザ リオの珠を繰り、聖母マリアと ともに祈りの旅へ出かけましょ う! (本文より抜粋) ロザリオの唱え方、4つの神

秘の解説、黙想の助けとなる名

リオを深めたい方のための手引きや、聖マリアへ の連願を含めた各種祈りも収載。

A6判 38頁定価 本体300円+税 ドン・ボスコ社

■『やぶ椿』川添岳石 著 死と笑い、切なさと慰め、そ して希望によって編まれた句集 『やぶ椿』は、削ぎ落とされた いのちから生まれたものです。 そしてこの句集は、俳句という 受け皿でキリストの福音を生き た川添岳石の遺言です。(古巣馨 *はじめに、より)

★目次 まえがき 古巣馨

画、各黙想で朗読する聖書箇所に加え、よりロザ ムンクの叫び 橋口町1-1 煩悩 母なる島 旅の空 異邦人 靴ひとつ あとがき 四六判上製 192頁 本体1,200円+税

ドン・ボスコ社

1千722万1392

東日本大震災大船渡支援 TSC原数好ポートセンタ・ 10月25日~2月10日分として) 献金人金報告 計 (2月10日現在) (倉装券

高松教区終身助祭候補者認定式

候補者:小山一(徳島教会)

R・Tウィリアムズ(観音寺教会)

場所:北条聖カタリナセミナーハウス (子どもと中高生の集/のミサルゴや/て)



私たちは、自分を創造しようとするこどもを まなび、護りましょう

> 学 星 景

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園 阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園



いと思います。 (J)びと感謝のうちに迎えたひと感謝のうちに迎えた

型週間、ご受難とご 復活を心からの喜びを以 復活を心からの喜びを以 て迎えることが出来る恵 みを願いました。でも、 を経験しました。でも、 を経験しました。でも、 をといましてその温かさ を象徴する高山助祭の司 を象徴する高山助祭の司 編集後記 を過ごしています。 の、ひととしての歩 らの、ひととしての歩 らの、ひととしての歩 のを見つめ直す恵みの時 を過ごしています。 時歩あ首

だった。

広島の三原まで

く約1ヵ月の過酷な道中

守り、

神の住むて

が鑑賞に訪れた。

会場には次々と

、殉教者のひとり聖トマ

日本二十六聖

て切々とつづった母

少年が殉教を前に

が力強く刻まれている。

岡さんから道後教会へ寄 市在住の版画家・岡万 版画の作者は広島県福

> る少年小崎の熱 ひたすら歩み続け 望に燃えて殉教

1

版画展開催が決まっ 贈されることになり、多 くの人に見てもらおうと 紙を書いた。 来た時、秘かに役人から 筆と紙をもらい母への手

は23人の信徒と共に捕 『長崎でハリツケにさ

れるためここまで来まし ませんように。パライソ (天国) で母上とすぐお 私のことは心配され

この手紙は母へ届かず、

0 8 9

まで毎日曜日午後 い合わせは道 毎火曜日 9 4

同展の会期は4 後教会 後1時ま 月 7

522) まで。

しのんでいた。 29

八国へ希 えんこう おえを 想いを 道を

 \emptyset

れ殉教者は26人となった。関で2人の信徒が加えらの襟から発見された。下のといかになった。 告 知 板

日時:4月22日(日)